

大石地区自治協議会

『地域計画』



大石「親子凧あげ大会」

地域計画とは

自分たちで地域の将来像や課題を考え、その課題の解決方法や将来像を実現する方法などをまとめたものです。

地域計画は、うきは市「自治組織条例施行規則（地域計画の策定）第11条」に「各自治協議会は、地域ごとの地理的な特性、自然、産業、歴史及び文化等の地域資源を活用し、地域の課題を解決するための理念、基本方針及び地域の将来像をとりまとめた地域計画を策定するものとする。」と規定されています。

[目 次]

うきは市地区自治協議会における「地域計画」の策定

I. 地域計画（全体計画）策定の流れ

1. ワークショップによる地域計画策定	……3
2. ワークショッププログラム	……3
3. 地区自治協議会地域計画日程	……3
4. レーダーチャートの活用	……4
5. 課題カードの活用	……4
6. 地域アンケートの実施	……5
7. 12の分野区分（14分野）	……6
8. 分野別地域計画の策定	……7

II. 大石地区自治協議会地域計画

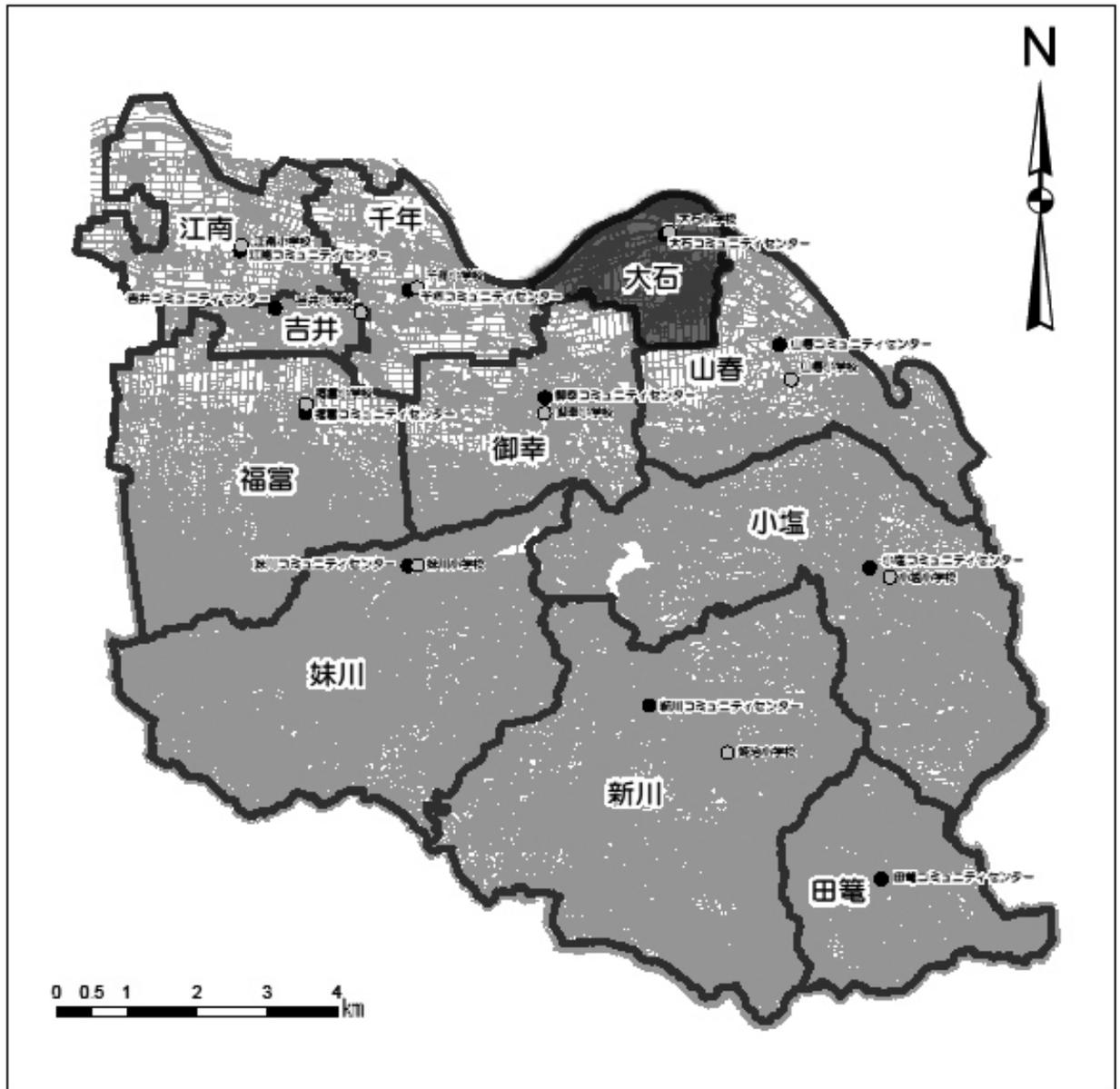
はじめに

1. 大石地区の現状と課題	……9
(1) 地域の現状	
(2) 地域の課題	
2. 大石地区がめざす将来像	…10
(1) 地区の目標	
(2) 分野（項目）と将来像	
3. 今後の課題	…11
4. 地域計画策定委員名簿	…11
5. 資料	…13
(1) 地域計画課題カード	
(2) 地域計画に関するアンケート結果	
(3) 地域計画まとめ	
① 分野別地域計画	
② 分野別計画まとめ	

うきは市 地区自治協議会における「地域計画」の策定

地区自治協議会が発足して2年、地域づくりを主体的に担う組織として徐々に定着してきました。

さらに「市民が主役」の協働のまちづくりを推進する次のステップとして、施策や具体的事業を盛り込んだ概ね5年～10年を期間とする「地域計画」を地域住民自身の手で作成しました。この計画に基づき平成28年度から事業を実施していきます。



1. 地域計画（全体計画）策定の流れ

1. ワークショップによる地域計画策定

地区自治協議会における「地域計画」は、地域にかかわるさまざまな立場の人々が参加して、地域の課題を明らかにし、課題を解決するための改善計画を策定しました。この共同作業を総称して「ワークショップ」と呼び住民参加型の活動形態の一つとして位置づけました。

2. ワークショップのプログラム

ワークショップは、自治協議会毎に4回計画され、以下の内容でプログラムされました。

	目的	具体的な内容
第1回	互いに知り合いまちづくりの問題を語る	「レーダーチャート」を作成し地域課題を明らかにする。
第2回	地域課題の重みづけ(優先順位づけ)を行う	「課題カード」を作成し、 地域課題の重みづけや地域の将来像 を考える。
第3回	分野別の活動(事業)と将来像を作る	課題を分野別に分類し、 分野ごとに活動(事業)と将来あるべき姿(目標) を考える
第4回	計画の確認・具体的な事業を考える	分野ごとに検討した取り組み内容について、 優先順位や時期 を検討し、最終計画に繋げる

また、各ワークショップが実施された後は、当該事務局とコミュニティ支援係で協議し、まとめを行ないました。

3. 地区自治協議会地域計画日程

うきは市では、自治協議会が設立した2年目、11地区の自治協議会毎に、まちづくりのための「地域計画」策定を行なうこととなりました。

そこで、1つの自治協議会をモデル地区に指定し、モデル地区の地域計画を先行させることで、他地区の役員さん等が事前に活動内容を把握できるようにしました。

このことで、各自治協議会において、地域計画策定の内容を理解し、ある程度見通しを持った活動が出来る事となりました。

協議会	妹川	新川	田籠	小塩	山春	大石	御幸 (モデル地区)	千年	吉井	福富	江南
委員数	20名	11名	15名	21名	27名	39名	22名	27名	16名	15名	24名
第1回	7/29(水) かわせみホール				8/10 (月)	8/24 (月)	5/27 (水)	8/3 (月)	7/17 (金)	7/23 (木)	7/30 (木)
第2回	8/26 (水)	8/26 (水)	8/31 (月)	8/28 (金)	9/16 (水)	9/25 (金)	6/23 (火)	9/18 (金)	8/20 (木)	8/21 (金)	9/10 (木)
第3回	9/29 (火)	9/17 (木)	10/1 (木)	9/28 (月)	10/14 (水)	10/21 (水)	7/27 (月)	10/14 (水)	9/24 (木)	9/15 (火)	10/9 (金)
第4回	10/30 (金)	10/20 (火)	11/12 (木)	10/26 (月)	11/13 (金)	11/25 (水)	9/8 (火)	11/4 (水)	10/20 (火)	10/13 (火)	11/11 (水)

※地域計画策定委員は、公募委員・各種団体役員・自治協議会役員等で構成されています。

4. レーダーチャートの活用

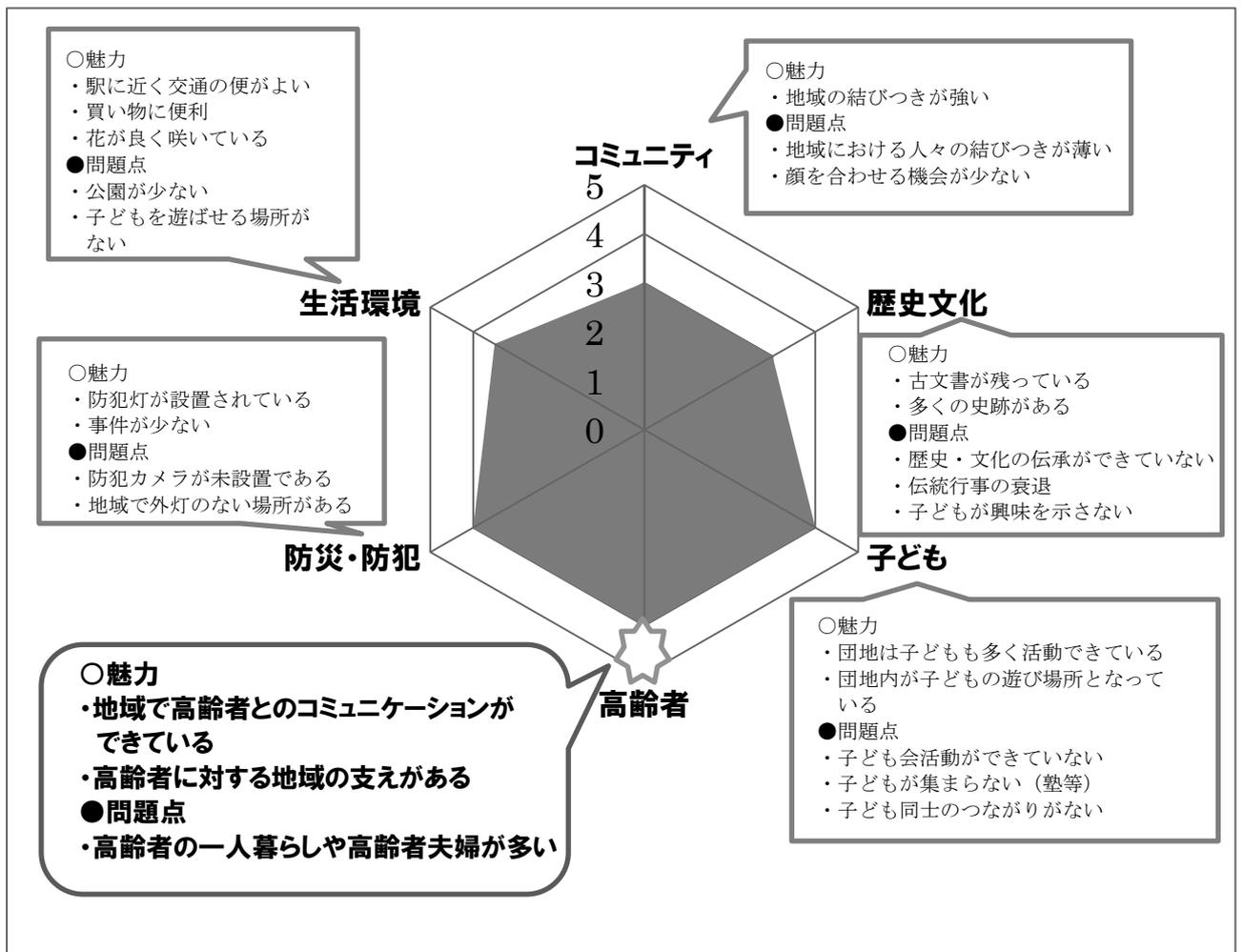
レーダーチャートとは、グラフの種類の一つで、複数の項目の大きさを同じ尺度で一覧し、項目間のバランスや全体的な傾向を図形の形状や大小で把握できるものです。

各項目の軸を図の中心を原点として放射状に伸ばし、それぞれの軸上に各項目の値をプロットします。隣接する項目同士を線分で結んでできた多角形が、対象の各項目の傾向を表しています。

突出して高い項目や低い項目があると対応する角に大きな凹凸ができ、値が全体的に高ければ多角形の面積が広く、低ければ狭くなります。

【レーダーチャート】（例）

地区自治協議会毎に、6つの項目を設定し、項目ごとの魅力や問題点を出し合い、5段階で評価しました。



5. 課題カードの活用

レーダーチャートにおける各項目の「魅力や問題点」から、地域課題を整理して「課題カード」を作成しました。

【地域計画課題カード】（例）

番号毎の太字は、その課題項目の強調すべき事項です。

あなたが、課題だと思う項目に☑チェックをしてください。

- (1) 行政区ごとに**自主防災組織**を作り、組織をしっかりすべきだ
- (2) **Uターン**の人や移住者を温かく迎える取り組みをすべきだ
- (3) **子ども会**活動を活性化して、子ども同士が繋がりを持つべきだ
- (4) 地域の愛着が生まれるような**清掃・花壇**づくりを行うべきだ
- (5) **小さい買い物**などできない高齢者が増えたので商店などを設けるべきだ
- (6) **森のみどり**保全、耕作放棄地の整備など自然を守るべきだ
- (7) **子育て**がしやすい環境づくりをつくるべきだ
- (8) 夜の安全のため**街灯**の設置、パトロールをすべきだ
- (9) 地域の活性化を図るため必要な**人材育成**をすべきだ
- (10) 子どもが非行に走らないため、**あいさつ運動**を行うべきだ
- (11) 高齢化が進んでいくため、高齢者の**集まる場所**をつくるべきだ
- (12) **静かな環境**を守るため、コンビニ周辺など深夜の騒音をなくすべきだ
- (13) 地域の活性化を図るため直売所や**観光施設**をつくるべきだ
- (14) **若者同士**が知り合い、交流できる機会をつくるべきだ
- (15) 地域が守ってきた豊富な**歴史的資源**を活用すべきだ
- (16) 高齢者の一人暮らしが増えてきたので**見守り**をすべきだ
- (17) 子どもが遊べるような**公園**を整備すべきだ
- (18) 道路や下水道などの**インフラ整備**をおこなうべきだ
- (19) 昔から伝承されてきた**伝統や行事**を受け継いでいくべきだ
- (20) **団地(行政区)内**での活発な子どもの活動を続けていくべきだ
- (21) 地域が一体化をするため、**イベント**等で活性化すべきだ
- (22) 高齢者も含めて**多世代が交流**できる場(知恵や技術を学ぶ場)をつくるべきだ
- (23) **公共交通**が少ないので、みんなが使える交通手段を考えるべきだ
- (24) **空き家**の増加に対して、空き家対策をすべきだ
- (25) 高齢者の**生きがい**(出番)づくりをするべきだ
- (26) 地域の安心・安全を守るため**防犯カメラ**の設置を行うべきだ

6. 地域アンケートの実施

地域計画策定委員会委員だけでなく、より多くの地域住民の「まちづくり」に関する意見を聞くために、各地区で上記の地域課題を踏まえた「アンケート」を作成し、地域計画策定に活用しました。

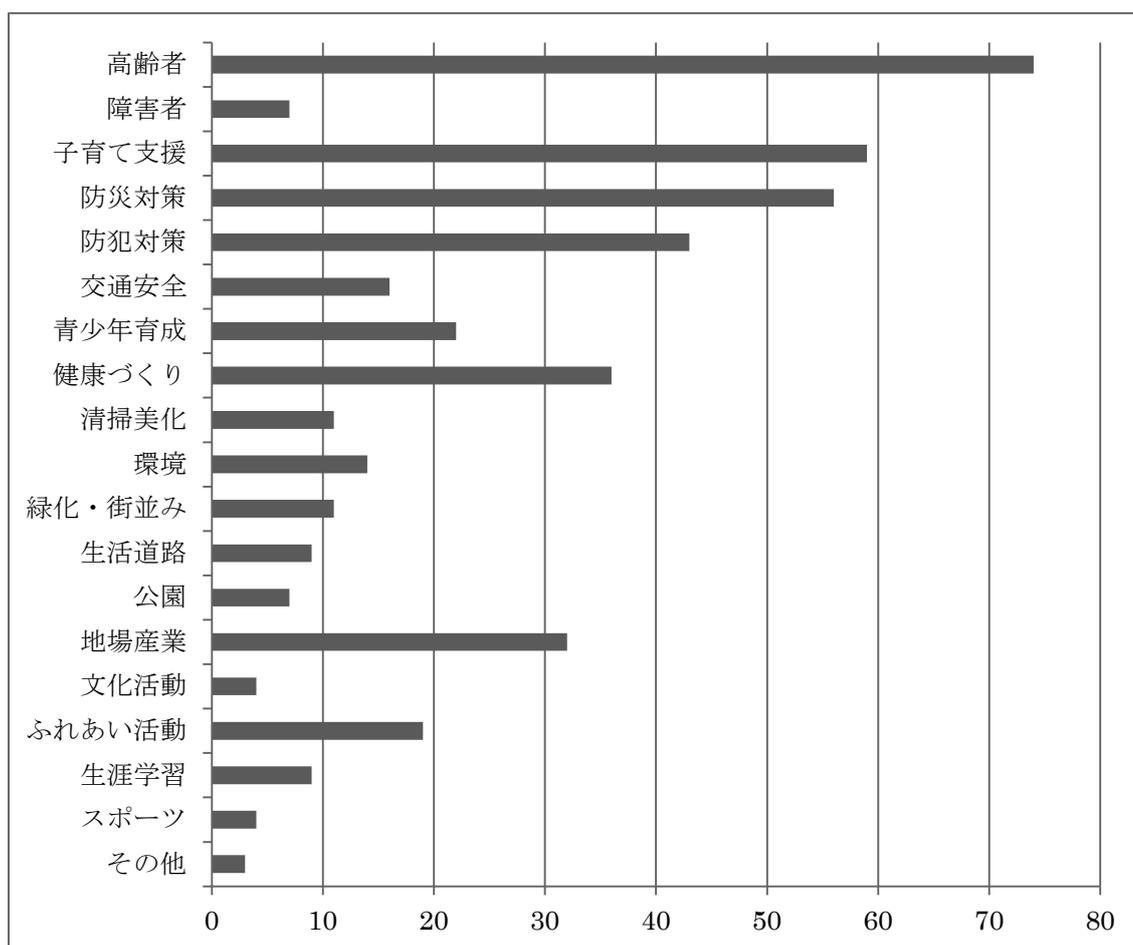
【アンケート結果】（例）

問2 あなたがお住まいの地域のまちづくりの施策として、重要だと考えることは何ですか？

（優先順位が高いものから順に3つ番号に○をつけてください）

① 高齢者の見守り	② 障害者の自立支援	③ 子育て支援
④ 防災対策	⑤ 防犯対策	⑥ 交通安全対策
⑦ 青少年育成支援	⑧ 健康づくり支援	⑨ 清掃・美化活動
⑩ 環境・リサイクル活動	⑪ 緑化・街並み	⑫ 生活道路の整備・管理
⑬ 公園の整備・管理	⑭ 地場産業の育成	⑮ 文化活動の支援
⑯ ふれあい活動	⑰ 生涯学習活動	⑱ スポーツ活動
⑲ その他		

【結果】



（考察）

地域のまちづくりの重点施策として、突出しているのは、①高齢者の見守りと、③子育て支援、次いで、④防災対策、⑤防犯対策となっています。

このことから、増加する高齢者への配慮と次代を担う子ども一人ひとりの育ちを社会全体で応援すること、また、安心して生活できる地域として防災・防犯対策も求めていることが分かります。

7. 12の分野区分（分野区分の11をさらに①～③に分けると14分野）

課題カードをもとに策定委員が取り組むべき重要なものを選定し、それをグルーピングし12（14）の分野区分を設定しました。

【分野区分】（例）

1	防犯・防災に関すること	9	地域文化の継承および創出に関すること	
2	生涯学習活動に関すること	10	コミュニティビジネス等地域経営に関すること	
3	環境及び景観保全に関すること			
4	人権教育・啓発に関すること	11	地域課題の解決、地域振興及び住民交流に関すること	① 地域振興・コミュニティづくり
5	福祉および健康増進に関すること			② 地域産業育成
6	高齢者等の生きがいづくりに関すること			③ 人口減少・定住促進
7	青少年の健全育成に関すること	12	その他特に必要があると各自治協議会が認めること	
8	男女共同参画に関すること			

8. 分野別地域計画の策定

自治協議会のまちづくりを推進するための事業、12分野毎に「課題カード」や「アンケート」をもとに、現在取りくんでいる活動と新しく必要な活動を洗い出し、今後自治協議会で推進していく事業を明らかにしました。

その後、今後自治協議会で推進していく事業を選出し、優先順位と具体的な事業内容を検討しました。

【分野別論議の内容】（例）

分野 (目標)	課題	行政区の活動	校区の活動	新しく必要な活動
防犯及び防災に関すること (目標) 「安全・安心のまちづくり」	○住民の 防犯・防災意識 を高めるような取組を行うべきだ ○行政区ごとに 自主防災組織 を作り、しっかり機能するようにすべきだ ○山間部における 災害時の備え を徹底すべきだ	○挨拶運動 ○ 区毎の自主防災組織 ○防犯灯のLED化	○防災訓練 ○ 防災講習会 ○青パトの巡回 ○シルバー保安官	○ 防犯カメラの設置 ○ 危険個所マップ ○声かけあいさつ運動 ○防犯灯の増設

【新たに必要な活動】（例）

区分	自治協議会活動案	どこで	なにを	どうする	だれが			いつ (順位)
					自治協	団体	行政	
新規 ・ 継続	防災組織の設置 および 講習会	自治協議会 (コミセン)	防災組織	設置して研修・講習する	◎	○ 区長会	△	1
新規 ・継続	防犯カメラの設置	校区内に	防犯カメラ	設置する (陳情する)	○	△ 区長会	◎	2
新規 ・継続	危険個所マップ	自治協議会	各区の危険箇所マップ	作成する	◎	○ 区長会	△	3

II. 大石地区自治協議会 地域計画

はじめに

大石地区自治協議会の「地域計画」は、大石小学校区18行政区を対象とした『地域まちづくり計画』です。

この計画は、平成27年度に公募委員・自治協議会役員・地域の各種団体代表等で、策定委員会を組織して審議を重ね策定したものです。

今後は、大石地区全体がこの『地域まちづくり計画』に基づき「自らの地域は自らが創る」を目標にして、多くの住民が参画し、活動することにより、安全で安心して住んで良かったといえるまちにすることを目指しています。

そのためにも、一人ひとりの住民の皆さまが、この地域計画の趣旨を理解していただき、大石地区のまちづくりにご支援とご協力をいただきますようお願いを致します。

大石地区自治協議会
会長 舎川 博道



1. 大石地区の現状と課題

(1) 地域の現状

【大石地区の人口・世帯の状況】

平成 27 年 4 月 1 日現在

行政区名	世帯数	人口	65 歳以上	高齢率	75 歳以上	後期高齢率	15 歳未満	年少率
東の一	66	207	71	34.3%	41	19.8%	23	11.1%
東の二	47	159	59	37.1%	27	17.0%	6	3.8%
東の三	88	263	86	32.7%	53	20.2%	31	11.8%
東の四	122	344	103	29.9%	50	14.5%	57	16.6%
東の五	47	153	59	38.6%	35	22.9%	17	11.1%
東の六	42	87	23	26.4%	7	8.0%	10	11.5%
西の一	35	75	37	49.3%	14	18.7%	4	5.3%
西の二	53	150	59	39.3%	29	19.3%	14	9.3%
西の三	50	187	62	33.2%	36	19.3%	26	13.9%
西の四	19	75	20	26.7%	14	18.7%	8	10.7%
西の五	25	63	22	34.9%	14	22.2%	5	7.9%
祇園町	34	100	42	42.0%	21	21.0%	9	9.0%
川端	42	106	47	44.3%	22	20.8%	9	8.5%
下の丁	27	75	31	41.3%	10	13.3%	6	8.0%
温泉区	77	144	52	36.1%	22	15.3%	14	9.7%
古川村	74	225	84	37.3%	44	19.6%	28	12.4%
糸丸	44	147	47	32.0%	30	20.4%	11	7.5%
中鶴	43	127	40	31.5%	23	18.1%	15	11.8%
(えびね荘)	47	47	47	100.0%	44	93.6%	0	0.0%
合計	982	2,734	991	36.2%	536	19.6%	293	10.7%

(2) 地域の課題

大石地区は、うきは市の東部に位置し、江戸時代 5 人の庄屋がかんがい工事のために築造した「大石堰」や、五庄屋の偉業を称えた「三堰の碑（大石堰・長野堰・袋野堰）」があることは有名です。

また、筑後川を挟んで朝倉市杷木町と隣接し、大分自動車道の杷木インターも近く、昭和 28 年の大洪水後の昭和 30 年に湧きだした「筑後川温泉」もあります。

現在大石地区には、980 世帯 2,700 名が生活しており、地元「弓立神社」の万年願相撲大会や、60 回を数える「大石親子凧あげ大会」、27 回を数える「大石堰駅伝競争大会」等様々な活動に取り組んでいます。

しかし、少子高齢化・過疎化・核家族化の動きは、地域の共生力を脆弱化させ、18 行政区では、15 歳未満の年少率 10% 未満が 9 区、逆に高齢率 35% 以上が 9 区、世帯数も 19 世帯から 122 世帯と様々です。

このことから、様々な活動に支障をきたすようになり、地域コミュニティによる地域力の再生が求められるようになっていきます。

2. 大石地区がめざす将来像

(1) 地区の目標

「人と人とのつながりを大切にし、世代を超えた笑顔あふれるまち大石」

地域計画策定委員会 各班の目標

- 「地域産業発展のまち大石」
- 「世代を超えた安心・安全な笑顔あふれるまち大石」
- 「自主防災と定住促進に取り組み安心して子育てが出来るまち大石」
- 「人と人とのつながりを大切に作るまち大石」
- 「子供の声があふれるまち大石」

(2) 分野（項目）と将来像

大石地区将来像を達成するための分野（項目）毎の将来像

No.	分野（項目）	大石地区まちづくりの将来像		
		うきは市まちづくりの将来像（総合計画）		
1	防犯及び防災に関すること	防災体制を確立し、安心・安全なまちづくり	・防災意識が広まり住民の安心度が高まっています	
2	生涯学習活動に関すること	人々のふれあいを大切にできるまちづくり	・生涯を通じた学習が盛んになっています	
3	環境及び景観の保全に関すること	子どもが笑顔でいられる環境づくり	・快適な暮らしができています	
4	人権教育・啓発に関すること	思いやりの集まるまちづくり	・全ての人の人権が大切にされています	
5	福祉及び健康増進に関すること	つなごう人の輪大石の輪	・お互いに支え合う地域ができています	
6	高齢者等の生きがいに関すること	安心して暮らせる大石	・高齢者が地域でいきいきと暮らしています	
7	青少年の健全育成に関すること	子どもの夢と希望を育むまちづくり	・青少年が健全に成長しています	
8	男女共同参画社会の推進に関すること	女性が様々な場で活躍できるまちづくり	・男女が互いに認め合い尊重しています	
9	地域文化の継承及び創出に関すること	歴史と伝統、文化の息づくまちづくり	・伝統と文化が守られ受け継がれています	
10	コミュニティビジネス等地域経営に関すること	地域資源を活かしたまちづくり	・地場産業がいきいきとしています	
11	地域課題解決、地域振興及び住民交流	① 地域振興、コミュニティづくり	人と人とのつながりを深めるまちづくり	・自治協議会の活動が活発になっています
			② 地域産業育成	大石ブランドをつくる産業づくり
		③ 人口減少、定住促進		だれでも住みたくなるまちづくり

12	その他特に必要があると認めるもの	・コミュニティセンター駐車場の拡張、事務室の拡張、 ・地域振興事業（地域おこし）の推進など
----	------------------	--

3. 今後の課題

大石地区自治協議会では、地域計画策定委員会において審議した結果、地区の将来像「**人と人とのつながりを大切に、世代を超えた笑顔あふれるまち大石**」の実現をめざし、歴史と伝統を大切にしながら、大人から子どもまで集い・交流し生き活きと生活でき、地区外の人々との交流が図れる安全で住みよい地区を実現していくための具体的な計画を策定することができました。

今後、大石地区における「地域計画」を実のあるものにしていくためには、18の行政区全住民の理解と協力がなければ推進していくことは困難です。

したがって、大石地区の活動を地域に理解してもらうため、更なる啓発を行っていく必要があります。

4. 地域計画策定委員名簿

No.	委員名	所属（役職）	校区	備考
1	佐藤 満	一般公募	西の2	
2	石井 譲二	一般公募	西の3	
3	石井 好貴	一般公募	東の3	
4	江嶋 康宏	一般公募	東の3	
5	出利葉和彦	一般公募	下の丁	
6	今村 邦充	区長会	西の2	
7	和田健一郎	区長会	西の3	
8	鹿田 正幸	区長会	東の5	
9	江藤孝太郎	区長会	下の丁	
10	吉瀬 晴規	区長会	古川村	
11	江藤 武紀	分館長	東の3	
12	永松 忠政	分館長	糸 丸	
13	矢野 紀男	老人クラブ	中 鶴	
14	伊藤キヌエ	老人クラブ	東の4	
15	吉瀬 充	防犯委員	下の丁	
16	今村 義房	交通指導員	西の2	
17	高橋正次郎	消防団第9分団	糸 丸	
18	石井 博幸	消防団第9分団	西の2	
19	鬼塚 誠	消防団第9分団	西の4	
20	諫山 勝治	大石小学校PTA	古川村	
21	田中 潤子	浮羽中学校PTA	東の4	
22	江藤 武夫	民生委員・児童委員	西の2	
23	橋本 和子	民生委員・児童委員	下の丁	
24	行徳 朱美	あいの会	川 端	
25	佐藤 智水	遊林愛児園	西の3	

26	矢野勢津子	女性代表	中 鶴	
27	岩下壽美恵	女性代表	西の1	
28	石井チトセ	女性代表	下の丁	
29	田中フヂ子	女性代表	東の4	
30	舎川 博道	自治協議会	古川村	
31	石井 正憲	自治協議会	糸 丸	
32	山田 修一	自治協議会	東の3	
33	麻生 学	自治協議会	西の1	
34	石井準一郎	自治協議会	糸 丸	
35	別府 美江	自治協議会	川 端	
36	中嶋 順子	自治協議会	東の1	
37	原田 清美	自治協議会	西の2	
38	篠原 武英	自治協議会	東の3	

5. 資料

(1) 地域計画課題カード

平成 27 年度大石地区自治協議会地域計画策定委員会

地域計画課題カード

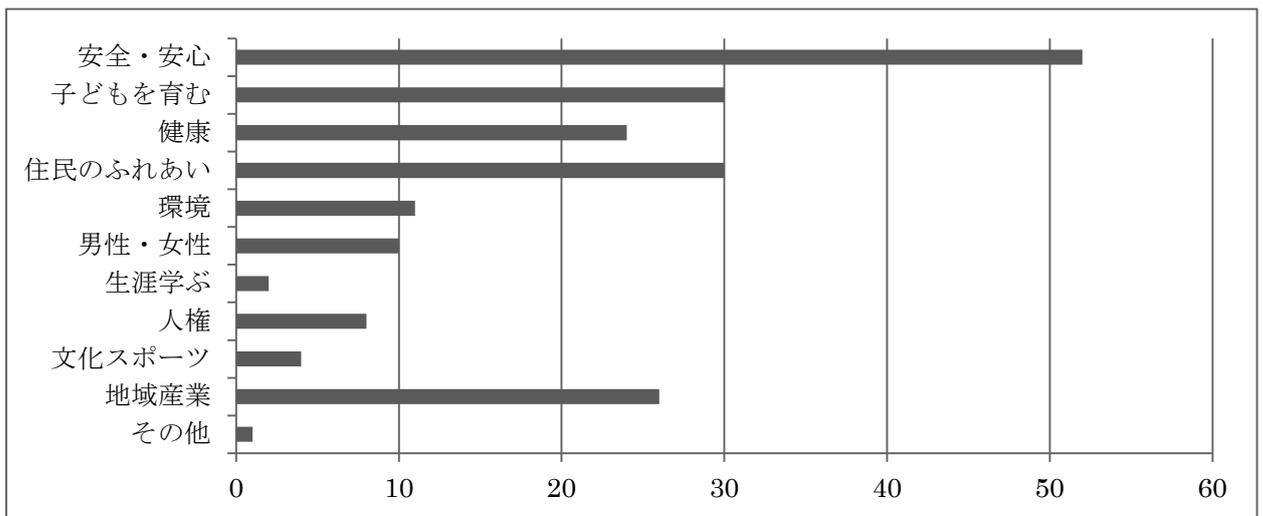
あなたが、課題だと思う項目にチェックをしてください。

- (1) **地域活動**に若い世代も参加しやすい環境を整えるべきだ
- (2) **高齢者の生きがい**（出番）づくりをするべきだ
- (3) 地域の**歴史**や**文化**を受け継いでいく人材を育てるべきだ
- (4) **空き家**を有効活用した取組を行うべきだ
- (5) 地域の安全・安心を守るため**防犯カメラ**の設置箇所を増やすべきだ
- (6) 昔から伝承されてきた**伝統や行事**を受け継いでいくべきだ
- (7) **世代間**の交流を深めるような取組を行うべきだ
- (8) **子育て世代**同士で交流できる場を設けるべきだ
- (9) 転入者など行政区未加入者が増えてきているので**加入促進**の取組を行うべきだ
- (10) **移動手段**のない高齢者対策に取り組むべきだ
- (11) 住民の**防犯・防災意識**を高めるような取組を行うべきだ
- (12) **商店や企業**の誘致を進めるべきだ
- (13) **安心して子育て**ができるような環境づくりをすべきだ
- (14) 安全に通行できるよう道路幅の拡張や**歩道の整備**を行うべきだ
- (15) **水害**発生時の備えを十分に行っておくべきだ
- (16) 若い世代にも関心を持ってもらえるよう**地域の歴史**を教える場を設けるべきだ
- (17) 一人暮らしの**高齢者**に対する**見守り**を徹底するべきだ
- (18) **公共交通機関**の整備をするべきだ
- (19) 地域活動の担い手づくりのための**人材育成**を行うべきだ
- (20) 夜の安全のために**街灯**の設置をするべきだ
- (21) 子育て世代の**負担**を減らす取組を行うべきだ
- (22) 袋野用水など地域の歴史的・文化的財産をもっと **PR** すべきだ
- (23) **自主防災**の校区での組織的な活動を行うべきだ
- (24) 高齢者の生活を**地域で支援**する取組を行うべきだ
- (25) **コミュニティ活動**の充実を図り、希薄化している人間関係を改善すべきだ
- (26) **耕作放棄地**の整備や有効活用した取組を行うべきだ
- (27) **公園**の整備など子どもの遊び場づくりをするべきだ
- (28) コミュニティセンターの**活用プラン**づくりを行うべきだ
- (29) 下水道など**住環境**基盤の整備を行うべきだ
- (30) **Uターン**者や移住者を温かく迎え交流できる場をつくるべきだ
- (31) 人口減少・**定住促進**対策に取り組むべきだ
- (32) **雇用の創出**を図るため企業の誘致を行うべきだ

(2) 地域計画に関するアンケート結果（大石地区自治協議会）

問1 あなたがお住まいの地域のまちづくりの将来像として、重要だと考えることは何ですか？（優先順位が高いものから順に3つ番号に○をつけてください）

- ① 安全・安心なまちづくり
- ② 子どもたちを育むまちづくり
- ③ 健康で共に生きるまちづくり
- ④ 住民のふれあいや支え合いのあるまちづくり
- ⑤ 環境にやさしい緑豊かで快適なまちづくり
- ⑥ 男性も女性も活躍できるまちづくり
- ⑦ 生涯にわたって学び続けるまちづくり
- ⑧ 人権にやさしいまちづくり
- ⑨ 文化やスポーツが盛んなまちづくり
- ⑩ 地域の産業が盛んなまちづくり
- ⑪ その他 ○高齢化が進み、過疎化に拍車がかかっていく事が予想される。これは、うきは市にとって重大な課題であるため、いかにして市民の負担を減らすことに尽力するかが問題である。それには、市民税を軽減する方策を立案する必要がある。



問1 地域のまちづくりの将来像（考察）

地域のまちづくりの将来像として、優先順位が高い三つは、①安全・安心なまちづくり、②子どもたちを育むまちづくり、④住民のふれあいや支え合いのあるまちづくりが挙げられ、次いで⑩地域産業が盛んなまちづくり、と③健康で共に生きるまちづくりとなっている。

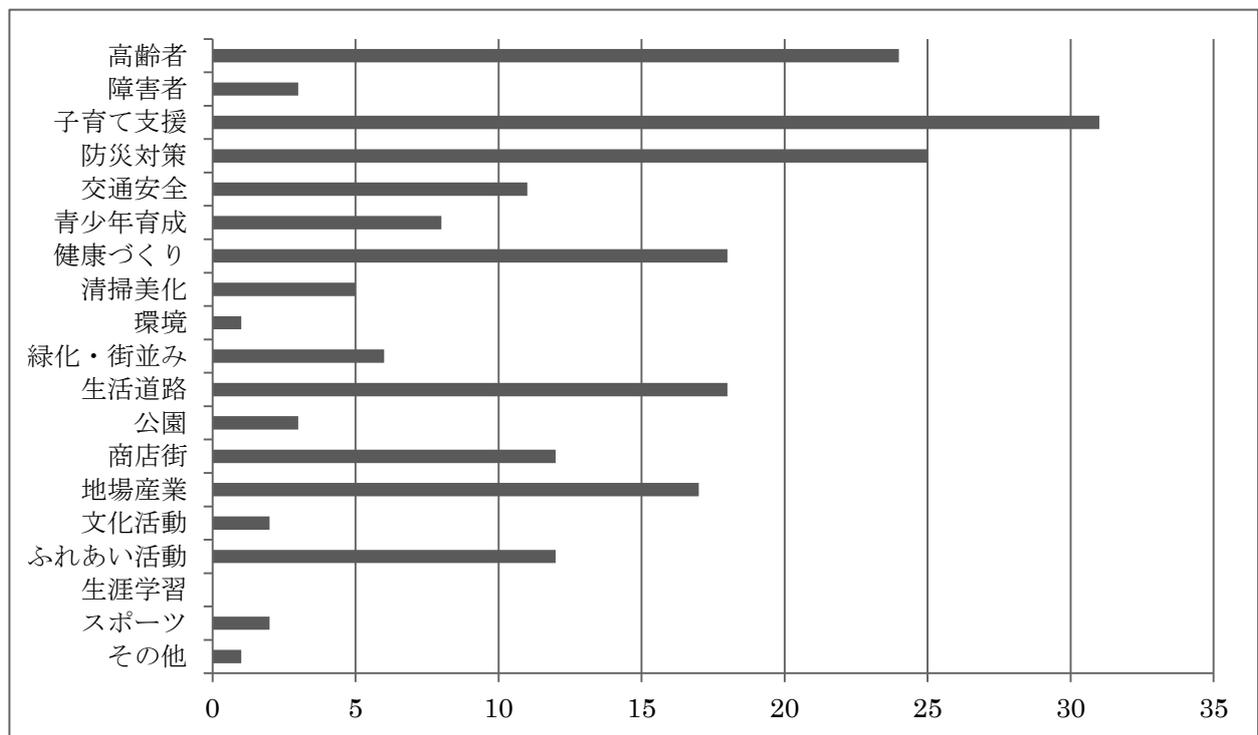
このことから、大石地区住民の将来像として、安心して生活でき、健康でふれあいや支え合い、子どもを育むまちづくりを求めていることが分かる。

しかし、もう一つの将来像として、地域産業の発展が求められている。

問2 あなたがお住まいの地域のまちづくりの重点施策として、重要だと考えることは何ですか？（優先順位が高いものから順に3つ番号に○をつけてください）

① 高齢者の見守り	⑩ 緑化・街並み
② 障害者の自立支援	⑪ 生活道路の整備・管理
③ 子育て支援	⑫ 公園の整備・管理
④ 防災対策	⑬ 商店街の活性化
⑤ 交通安全対策	⑭ 地場産業の育成
⑥ 青少年育成支援	⑮ 文化活動の支援
⑦ 健康づくり支援	⑯ ふれあい活動
⑧ 清掃・美化活動	⑰ 生涯学習活動
⑨ 環境・リサイクル活動	⑱ スポーツ活動

⑲ その他 ○若者の職場、バイパスの繁栄 ○各集落のコミュニケーション
○企業誘致を進める



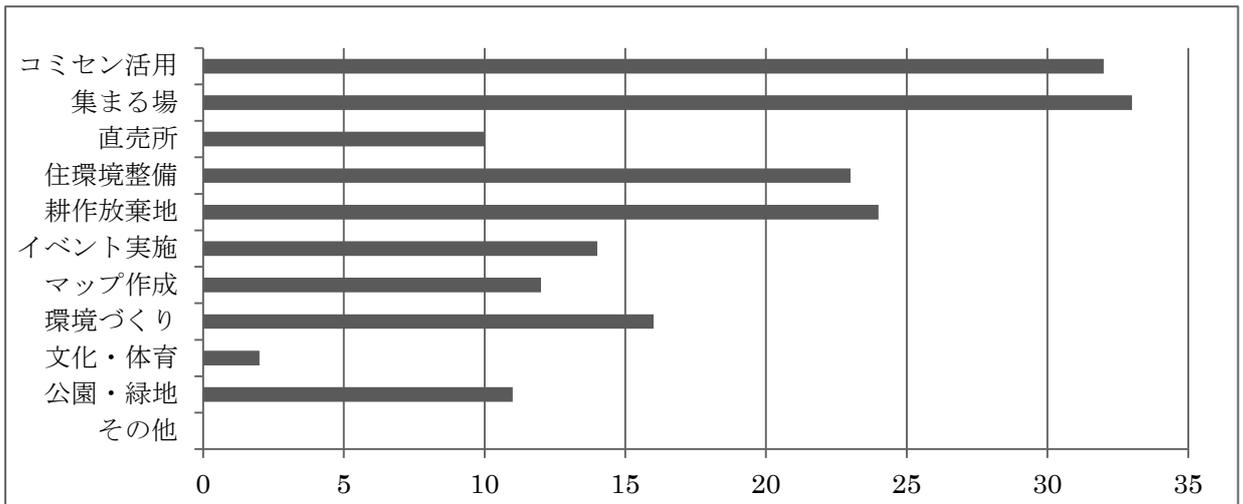
問2 地域のまちづくりの重点施策（考察）

地域のまちづくりの重点施策として、突出しているのは、③子育て支援、④防災対策、次いで、①高齢者の見守りとなっている。
このことから、増加する高齢者への配慮と次代を担う子ども一人ひとりの育ちを社会全体で応援すること、また、安心して生活できる地域として防災対策も求めている。

問3 あなたがお住まいの地域の魅力をより高める為にはどんなことに優先的に取り組むべきと考えますか？（優先順位が高いものから順に3つ番号に○をつけてください）

- ① コミュニティセンター（自治協議会施設）活用プランづくり
- ② みんなが集り・交流できる場所づくり
- ③ 野菜などの直売所づくり
- ④ 道路・下水道などの住環境基盤の整備
- ⑤ 耕作放棄地の整備、美しい里山づくり

- ⑥ 古道など散策道路整備&イベント実施
- ⑦ 小さな魅力スポット発掘&マップ作成
- ⑧ 交通の便がよい環境づくり
- ⑨ 文化・体育的イベント実施
- ⑩ くつろげる公園や・緑地の整備
- ⑪ その他 ○本地区は宝の宝庫（山・川・施設）であるのに対し、それを活かし切れていない。○単体で作り上げるのではなく、連帯感を持たせた地域・観光づくりを行えば雇用が進み、よりよい地域づくりが行なわれると思う。



問3 地域の魅力をより高める為に優先的に取り組むべきと考えること（考察）

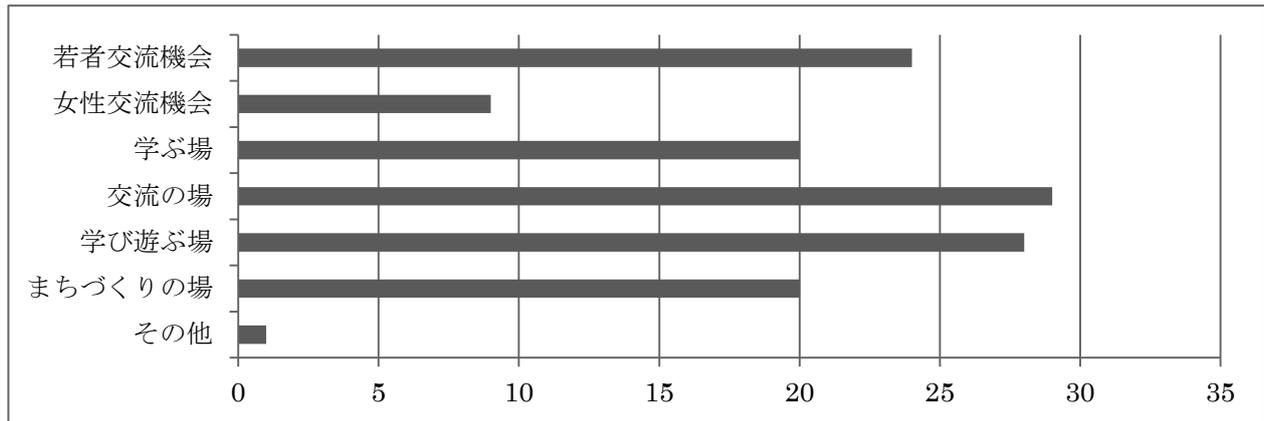
地域の魅力をより高める為に優先的に取り組むべきと考えることとして、突出しているのは、②みんなが集り・交流できる場所づくり、コミュニティセンター（自治協議会施設）活用プランづくりである。

次いで、⑥耕作法基地の整備、美しい里山づくり、④道路・下水道などの住環境基盤の整備が挙げられる。

このことから、大石地区住民の地域づくりの目標としては、コミュニティセンターを活用したまちづくりが求められていることが考えられる。

問4 あなたがお住まいの地域のつながり、一体感をより高めるために何をしたらよいと考えますか？（優先順位の高いものから順に2つ番号に○をつけてください）

- ① 若者同士が知り合ったり、交流できる機会をつくる
- ② 女性（お嫁さん含む）同士が知り合ったり、交流できる機会をつくる
- ③ おじいちゃん、おばあちゃんの知恵・技術を学ぶ場をつくる
- ④ Uターンの人や、移住者を温かく迎え交流できる場をつくる
- ⑤ こどもが学び・遊ぶ場をつくる
- ⑥ まちづくりについて世代を超えて自由に語れる場をつくる
- ⑦ その他



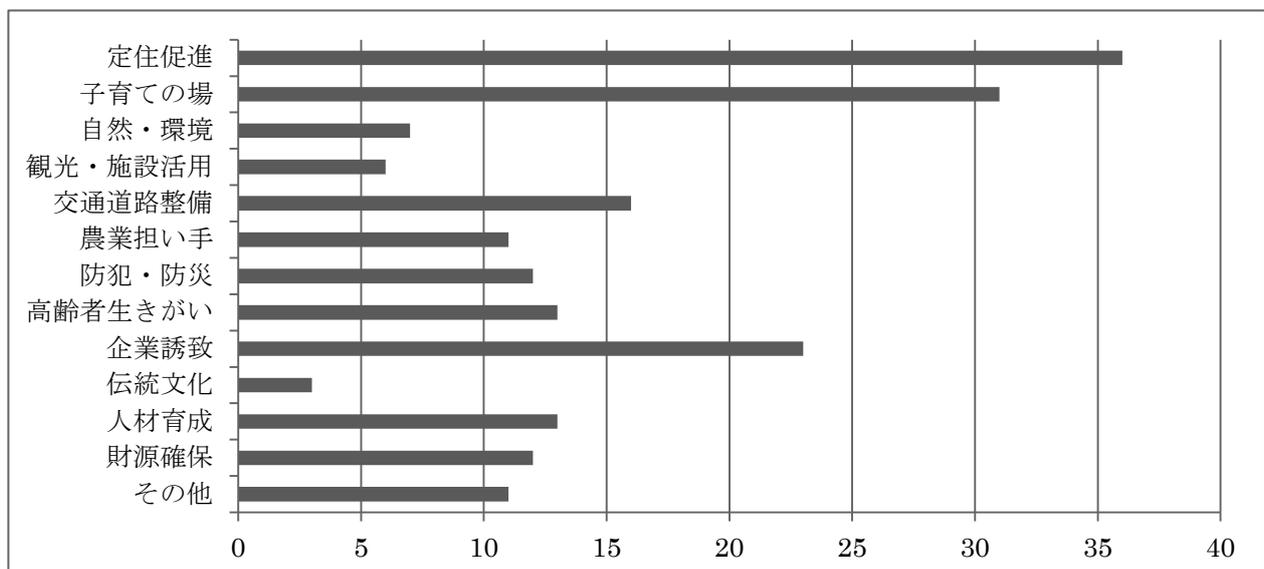
問4 地域のつながり、一体感をより高めるために何をしたらよいと考えるか（考察）

地域のつながり、一体感をより高めるために何をしたらよいかで、突出しているのは、④Uターンの人や、移住者を温かく迎え交流できる場をつくる、①女性（お嫁さん含む）同士が知り合ったり、交流できる機会をつくるである。

一方、⑤こどもが学び・遊ぶ場をつくるや③おじいちゃん、おばあちゃんの知恵・技術を学ぶ場をつくる、⑥まちづくりについて世代を超えて自由に語れる場をつくるも多く、種々の活動を行なうための「場所づくり」様々な交流の場づくりが求められている。

問5 あなたのお住まいの地域の今後10年間のまちづくりにおいて、今真っ先に手を打つべきと考える施策は何ですか？（優先順位の高いものから順に3つ番号を記載ください）

① 人口減少・定住促進対策	⑧ 高齢者の生きがいづくり
② 子育てのしやすいまちづくり	⑨ 雇用の創出・企業誘致
③ 自然・環境整備	⑩ 伝統文化の伝承・教育
④ 観光・施設活用	⑪ まちづくりをする人材育成
⑤ 交通・道路整備	⑫ 地域が自立するための財源確保
⑥ 農林業の担い手づくり	⑬ その他（ ）
⑦ 防犯・防災	



問5 今後10年間のまちづくりにおいて、今真っ先に手を打つべきと考える施策は何ですか

今後10年間のまちづくりにおいて、今真っ先に手を打つべきと考える施策として、突出しているのは、①人口減少・定住促進対策で、人口減少に対する定住促進、併せて②子育てのしやすいまちづくりが求められている。
また、大石地区の特徴として、⑨雇用の創出・企業誘致が大きく求められている。

問6 その他ご意見があれば、なんでもご自由にお聞かせください。

○うきは市は、農業・観光の場所としては、最適な地域である。しかし、営農者は高齢化が進み担い手不足が深刻な問題となっている。更に自然・温泉・食料を主とした資源はあるものの、いま一つ観光誘致が不足している。営農は、組織法人化しているが、一枚の農地が小さいため、営農の効率が悪く維持管理削減が図れていない。よって、畦を撤廃し農地拡大した営農に方針を図れば、効率的な営農が図れる。

観光に至っては、単一施設の観光誘致ではなく、連続性を持たせた施設の観光誘致を図れば、より一層の財源確保が望めると考えられる。

○アンケートの趣旨とは少し違うかもしれませんが、以下のことは主要課題と考える。

・上水道の問題である。これから人口減少になっていくのは明らかである。その中で、下流から上流に水を引くのはどう考えても「建設コスト」、「ランニングコスト」がかかりすぎて市民の負担が大きくなるのは目に見えている。

・市民の負担がなければ良いが、必然的に負担は増える。そうなるとアンケートの趣旨である住みよい地域づくりとは、の原点に戻れるものと考え。⇒税金納付額が増えれば、市民としては、どうかということになるのでは、ぜひともお考えください。

ご協力ありがとうございました！

(3) 地域計画まとめ

① 分野別地域計画

分野 No.	分野 (目標)	課題	現在取り組んでいる 行政区活動	現在取り組んでいる 地区内活動	新しく必要な活動	今後取り組む活動
1	防犯及び防災 (目標) 「防災体制を確立し安全・安心なまちづくり」	○地域の安全・安心を守るため防犯カメラの設置箇所を増やす	○東高見地区 防災訓練(消火・避難)	○校区での「防犯カメラ」設置数2ヶ所 ○コミュニティで防災訓練(年2回)	○「防犯カメラ」コミュニティ活動上で新規設置場所及び個数を検討	●自主防災組織全行政区結成 ●防災訓練 ●避難所の運営と訓練 ●防災教育 ○自治協議会内での防災組織を作る ○意識啓発
		○住民の防犯・防災意識を高めるような取り組みを行う	○糸丸区防災訓練(消火・避難・救命)	○自主防災組織の現結成数9組織	○防犯意識の啓発・防災教育	
		○自主防災の校区での組織的な活動を行う	○自主防災組織編成するも行政区の申出不十分	○自主防災組織を全行政区に早急に設置すべき	○避難経路の周知と確認	
		○水害発生時の備えを十分に行う		○非常食の備蓄(食糧・水)	○避難所の運営訓練	

区分	自治協議会活動案	どこで	なにを	どうする	だれが			いつ (順位)
					自治協	団体	行政	
新規・ 継続	防災組織の発足・発展	1.各行政区(先行) 2.自治協議会	自主防災組織	・啓発教育 ・組織づくり	○	◎(区長) ○(消防団)	△	1
新規・ 継続	避難訓練・避難所運営訓練	1.各行政区 2.自治協議会	経路・支援方法・役割分担	・運営方法	◎	◎	○ 支援必要	2
新規 ・継続	防災教育	1.各行政区 2.自治協議会	問題点の把握・対策について(対処・対応)	・講話・研修 ・実施訓練	○		◎	3

分野 No.	分野 (目標)	課 題	現在取り組んでいる 行政区活動	現在取り組んでいる 地区内活動	新しく必要な活動	今後取り組む活動
2	生涯学習活動 (目標) 「人々のふれ あいを大切に できるまちづ くり」	○地域活動の担い手づくり の人材育成を行う		○分館対抗グラウン ドゴルフ大会	○高齢者に対するサークル 活動	●グラウンドゴルフ大会 ●地域活動の担い手づくりの ための人材育成(子ども会) ●各種教室(サークル活動)の 開催 ○地域間・世代間交流
		○あいさつや日常会話など を通して繋がり希薄化 を防ぐ		○菜の花ウォーキン グ大会	○活動の場づくり (各種教室開催)	
		○各種教室(サークル)の 活動を行う		○大石堰駅伝競争大 会	○知恵や知識の活用の場づ くり	
		○高齢者の学習の場 生きがい(出番)づくりを 行う		○親子凧あげ大会 ○一年生七夕お祝い	○リーダー発掘・育成 ○地域間・世代間交流	

区分	自治協議会活動案	どこで	なにを	どうする	だれが			いつ (順位)
					自治協	団 体	行 政	
新規・ <u>継続</u>	グラウンドゴルフ大会	自治協議会	グラウンドゴルフ大会	各分館対抗の大会を開催する	◎	△	○	1
<u>新規</u> ・継続	担い手づくりのための人材育成	自治協議会	人材育成	地域活動の担い手を育む学習の実施	◎	△	○	2
<u>新規</u> ・継続	各種教室の開催	自治協議会	各種教室	各種教室・サークルを開催する	◎	△	○	3

No.	分野 (目標)	課題	現在取り組んでいる 行政区活動	現在取り組んでいる 地区内活動	新しく必要な活動	今後取り組む活動
3	環境及び景 観保全 (目標) 「子どもが笑 顔でいられる 環境づくり」	○安全に通行できるよう道 路幅の拡張や歩道の整備 を行う	○道路に関しては要 望する(区の道路愛 護等で) ○遊具の管理(ペンキ 塗り・安全管理) ○公園の管理 ○道路愛護での河川 の掃除	○期成会による要望 ○放水路の管理 ○草刈	○意見を交換し合うシステ ムを創る ○公園に日陰を造ってほし い ○公園に関する要望を調査 する ○下水道の接続を進める	●道路愛護 ●意見を交換し合うシステム づくり ●効率のよい作業ができるシ ステムづくり ○公園管理 ○道路愛護での草刈り ○道路愛護での河川の清掃
		○公園の整備など子どもの 遊び場づくりをする				
		○下水道など住環境基盤の 整備を行う				
		○公共交通機関の整備を行 う				

区分	自治協議会活動案	どこで	なにを	どうする	だれが			いつ (順位)
					自治協	団 体	行 政	
新規・ 継続	道路愛護	各行政区	道路・河川	整備を行う	△	◎ 行政区	◎	1
新規 ・継続	意見を出し合うシステ ムづくり	行政区公民館 大石コミュニティセ ンター	環境及び景観保全の 問題	解決に向けての打合 せ	◎	◎ 行政区	○	2
新規 ・継続	効率のよい作業ができ るシステムづくり	行政区公民館 大石コミュニティセ ンター	環境及び景観保全の 問題	解決に向けての打合 せ	◎	◎ 行政区	○	3

分野 No.	分野 (目標)	課 題	現在取り組んでいる 行政区活動	現在取り組んでいる 地区内活動	新しく必要な活動	今後取り組む活動
4	人権教育・啓 発 (目標) 「思いやりの 集まるまちづ くり」	○人権教育・啓発の推進を 行う		○人権講演会 (講師招聘)	○人権学習(区長会・分館 長会・各部会) ○人権の花の栽培	●人権講演会 ●人権学習 (区長会・分館長会・部会) ●人権の花栽培

区分	自治協議会活動案	どこで	なにを	どうする	だれが			いつ (順位)
					自治協	団 体	行 政	
新規・ 継続	人権講演会	自治協議会	講演会	開催する	◎	△	○	1
新規 ・継続	人権学習会	自治協議会	学習会	開催する 市のビデオと講話	◎	△	○	2
新規 ・継続	人権の花栽培	自治協議会	人権の花(ひまわり) を育てる	花を植える場所を選 定し子どもと一緒に 植える	◎	◎ (小学校)	△	3

No.	分野 (目標)	課題	現在取り組んでいる 行政区活動	現在取り組んでいる 地区内活動	新しく必要な活動	今後取り組む活動
5	福祉及び健康増進 (目標) 「つなごう人の輪大石の輪」	○高齢者の生活を地域で支援する取組を行う	○お宮の掃除 ○駅前掃除 ○1人暮らしに声掛け ○見守り・声掛け ○よりあい会	○友愛訪問 ○ラジオ体操 ○あいの会弁当づくり ○小修理活動 ○買い物支援 ○一人暮らし訪問 ○福祉まつり ○福祉委員研修会 ○シルバー料理教室	○簡単な食事づくり応援 ○各家庭の掃除 ○移動スーパー週1回を週2回に ○簡単な家の修理・ボランティア活動 ○買い物支援を多くの方が手伝えるようにしたい	●見守り・声かけ ○一人暮らしの声かけ ●買い物支援 多くの方が手伝えるようにしたい ●簡単な家の修理 ○ボランティア活動 ○よりあい会 ○移動スーパー

区分	自治協議会活動案	どこで	なにを	どうする	だれが			いつ (順位)
					自治協	団体	行政	
新規・ 継続	見守り・声かけ	各行政区	見守り・声かけ	高齢者宅を訪問し実施する	○	◎ 行政区	△	1
新規 ・継続	ボランティア活動 (家の簡単な修理)	自治協議会	専門の方の登録 (窓口：自治協議会)	独居高齢者世帯に対して活動 材料費のみ(請求またはガソリン代等)	◎	○ 地域の方	△	2
新規 ・継続	買い物支援	自治協議会	移動スーパーの回数・ルートを増やす	市の補助金申請 ルートの検討	○	○ 行政区	◎ 補助金	3

No.	分野 (目標)	課題	現在取り組んでいる 行政区活動	現在取り組んでいる 地区内活動	新しく必要な活動	今後取り組む活動
6	高齢者等の 生きがい (目標) 「安心して暮 らせる大石」	○高齢者の生きがい(出番) づくりをする	○花づくり ○しめ縄作り (西高見) ○長寿を祝う会	○老人クラブグラウン ドゴルフ大会 ○老人クラブパークゴ ルフ大会	○便利屋活動 (基本はボランティア) (例)・テレビの故障・玄 関チャイムの故障等) ○有償ボランティア ○行政区の公民館の解放 (サークル活動を行う)	●老人クラブグラウンドゴル フ大会 ●一人暮らし高齢者に対する 見守りの徹底 ○便利屋活動
		○移動手段のない高齢者対 策に取り組む				
		○一人暮らし高齢者に対す る見守りを徹底する				

区分	自治協議会活動案	どこで	なにを	どうする	だれが			いつ (順位)
					自治協	団 体	行 政	
新規・ 継続	グラウンドゴルフ大会	老人クラブ	グラウンドゴルフ大 会	開催する	◎	○	△	1
新規 ・継続	一人暮らし高齢者に対 する見守り	自治協議会	便利屋活動	ボランティア活動	◎	○	△	2

No.	分野 (目標)	課題	現在取り組んでいる 行政区活動	現在取り組んでいる 地区内活動	新しく必要な活動	今後取り組む活動
7	青少年の健全育成 (目標) 「子どもの夢と希望を育むまちづくり」	○少子化が進む中、子供会活動など維持存続できるような工夫した取組を行う ○安心して子育てができるような環境づくりを行う	○シルバー保安官	○といもっ祭 子育てと教育を進める会 ○親子ソフティボール大会 ○弓立神社万年願相撲大会	○リーダー育成 ○通学合宿 ○野外体験活動 ○あいさつ運動 ○子育て相談 ○寺子屋的な教育 ○伝統行事の継承と発展	●通学合宿 ●リーダー育成（子ども会） ●伝統行事 （相撲、駅伝、凧揚げ） ○寺子屋的な教育

区分	自治協議会動案	どこで	なにを	どうする	だれが			いつ (順位)
					自治協	団体	行政	
新規・ 継続	通学合宿	コミュニティセンター	合宿	大石地区全体の取り組みとして開催する	◎	○ (PTA)	△	1
新規 ・継続	リーダー育成 (子ども会)	自治協議会	研修会	子ども会を育むリーダー育成	◎	○ (PTA)	△	2
新規 ・継続	伝統行事の継承と発展	自治協議会	伝統行事	高齢者と共に伝統を継承し新しく作る	◎	○	△	3

分野 No.	分野 (目標)	課 題	現在取り組んでいる 行政区活動	現在取り組んでいる校 区内活動	新しく必要な活動	今後取り組む活動
8	男女共同参画 社会の推進 (目標) 「女性が様々な 場で活躍できる まちづくり」	○男女共同参画社会の推進 を行なう		○女性部会 ○井戸端会議 ○視察研修	○女性部連絡員学習会 ○男の料理教室 ○地区民へ講演等での啓 発活動	●女性部連絡員学習会 ●男の料理教室 ●講演会の実施 ○女性部会の設置

区分	自治協議会動案	どこで	なにを	どうする	だれが			いつ (順位)
					自治協	団 体	行 政	
新規・継続	女性部主催の学習会	自治協議会	講演会	開催する	◎	○	△	1
新規・継続	男の料理教室	自治協議会	料理教室	開催する	◎	○	△	2
新規・継続	講演会の実施	自治協議会	講演会	講師を招聘して学習 する	◎	○	△	3

No.	分野 (目標)	課題	現在取り組んでいる 行政区活動	現在取り組んでいる 地区内活動	新しく必要な活動	今後取り組む活動
9	地域文化の 継承及び創 出 (目標) 「歴史と伝統、 文化の息づく まちづくり」	○地域の歴史や文化を受け 継いでいく人材を育てる	○夏まつり ○堂籠り ○鬼火たき	○しめ縄づくり	○歴史マップづくり ○地域資源の把握と情報 発信 ○歴史文化の伝承 (子どもへ) ○地域歴史・文化の周 知・広報	●しめ縄づくり ●地域の歴史文化の周知・広報 ○歴史文化の伝承(子どもへ)
		○昔から伝承されてきた伝 統や行事を受け継ぐ				
		○若い世代にも関心を持っ てもらえるような地域の 歴史を教える場を設ける				
		○袋野用水など地域の歴史 的・文化的財産をもっと PRする				

区分	自治協議会活動案	どこで	なにを	どうする	だれが			いつ (順位)
					自治協	団体	行政	
新規・ 継続	しめ縄づくり	行政区	しめ縄	作成する	○	◎ (行政区)	△	1
新規 ・継続	地域の歴史文化の周 知・広報	自治協議会	マップづくり コミュニティ便り	作成する	◎	△ (行政区)	○	2

分野 No.	分野 (目標)	課題	現在取り組んでいる 行政区活動	現在取り組んでいる 地区内活動	新しく必要な活動	今後取り組む活動
10	コミュニティ ビジネス等 地域経営 (目標) 「地域資源を活 かしたまちづく り」	○地域が一体となって取り 組むことができるイベン トの推進を行う		○ファイバーリサイク ル事業	○地域資源を活用した地 域おこし ○イベントの実施	●ファイバーリサイクル事 業 ●地産地消の直売所開設
		○地域資源を活用した地域 おこしを行う				

区分	自治協議会活動案	どこで	なにを	どうする	だれが			いつ (順位)
					自治協	団 体	行 政	
新規・継続	ファイバーリサイクル 事業	自治協議会	衣類・雑貨等	リサイクル品を販売 して収益を得る	◎	○	△	1
新規・継続	直売所開設	自治協議会	野菜・果物等	産物を持ち寄り青空 市場の開設	◎	◎ (営農者)	△	2

No.	分野 (目標)	課題	現在取り組んでいる行政 区活動	現在取り組んでいる 地区内活動	新しく必要な活動	今後取り組む活動
11	①地域振興、 コミュニティづくり (目標) 「人と人との つながりを深 めるまちづく り」	○地域活動に若い世代も参加しやすい環境を整える	○お祭り・演芸会・獅子舞 ○パークゴルフ大会	○大石小運動会 ○ラジオ体操	○まつり（市のフォロー手配ルート）・一度止めると再開難 ○盆踊り大会 ○小学校運動会を活用した地域運動会 ○スポーツ大会 ○コミュニティセンターの活用 ○大石版寺子屋 ○大石グラウンドゴルフ大会を行政区でも実施し上位数チーム再参加 ○高齢者の先生による子供への料理教室 ○ボランティア人材バンク ○鬼火たき・おまつり・獅子舞 ○地域清掃ボランティア ○シルバー人材センター(大石)	●公園の草刈り ●コミュニティセンター（公民館）の活用 ●お祭り・演芸会・獅子舞 ○花まつり ○シルバー人材センター ○ボランティア人材バンク ○大石版寺子屋 ○地域運動会
		○世代間の交流を深めるような取組を行う	○公園の草刈 ○グラウンドゴルフ大会	○三世代交流 ○といもっ祭		
		○子育て世代同士で交流できる場を設ける	○花まつり ○道路愛護	○文化祭 ○通学合宿		
		○地域活動の担い手づくりのための人材育成を行う	○ひがごもり ○堤防・放水路の草刈	○グラウンドゴルフ 大会		
		○コミュニティ活動の充実を図り、希薄化している人間関係を改善する	○堂籠もり ○子供会行事（キャンプ等）			

区分	自治協議会活動案	どこで	なにを	どうする	だれが			いつ (順位)
					自治協	団体	行政	
新規・継続	公園の草刈り	自治協議会	環境整備	校区内全域の堤防・空き地の草刈り	◎	○	○	1
新規・継続	コミュニティセンター（公民館）の活用	自治協議会	寺子屋・趣味等	校区内の得意な人を活用して行う	◎	○	△	2
新規・継続	地域行事の開催	行政区	地域運動会、お祭り・演芸会・獅子舞 等	行政区毎に実施する	○	◎ 行政区	△	3

No.	分野 (目標)	課題	現在取り組んでいる 行政区活動	現在取り組んでいる 地区内活動	新しく必要な活動	今後取り組む活動
11	②地域産業 育成 (目標) 「大石ブランドをつくる産業づくり」	○商店や企業の誘致を進める	○家庭菜園をする	○組合を創って放置しているところで作物を作る	○市に要望をする ○地元からの要望を調査し希望を叶える ○高齢者の活用 ○人脈の掘り起し	●組合づくり ●雇用の創出 ●地域産業の育成 ○家庭菜園 ○人脈の掘り起こし ○高齢者の活用 ○人材派遣（高齢者の活用）
		○耕作放棄地の整備や有効活用した取組を行う				
		○雇用の創出を図るため企業の誘致を行う				

区分	自治協議会活動案	どこで	なにを	どうする	だれが			いつ (順位)
					自治協	団体	行政	
新規・ <u>継続</u>	組合をつくって耕作放棄地を整備	自治協議会	協議会（懇談会）づくり	自治協議会、農業委員、営農代表、市役所等関係者で協議する	○	◎ (営農組合)	○	1
<u>新規</u> ・継続	雇用の創出	行政と自治協議会	働く環境づくり	雇用対策の実施	○	○	◎	2
<u>新規</u> ・継続	地域産業の育成	自治協議会・組合	地元産業活性化	観光地のPR	○	○	◎	3

No.	分野 (目標)	課題	現在取り組んでいる 行政区活動	現在取り組んでいる 地区内活動	新しく必要な活動	今後取り組む活動
11	③人口減少 減・定住促進 (目標) 「だれでも住 みたくなるま ちづくり」	○転入者など行政区未加入者 が増えてきているので加入 促進の取り組みを行う	○アパートへの勧誘 ○区長さんからの加 入の勧め	○子供110番 ○シルバー保安官 ○危険箇所マップ作 成	○防犯カメラ ○空家対策事業 ○企業誘致 ○大石の魅力発信	●子育て支援 (子育てと教育・学童保育) ●危険箇所マップ作成 ●企業誘致
		○安心して子育てが出来るよ うな環境づくりをする	○子供会が参加する よりあい会	○延長保育 ○子育て支援(学童保 育)		
		○子育て世代の負担を減らす 取り組みを行う	○通学合宿 ○新規加入者参加の 花見			
		○Uターン者や移住者を温か く迎え交流できる場をつく る				
		○人口減少・定住促進対策に 取り組む				

区分	自治協議会活動案	どこで	なにを	どうする	だれが			いつ (順位)
					自治協	団 体	行 政	
新規・ 継続	子育て支援	自治協議会・学校	子育てと教育を進め る会活動	子どもを育む	◎	○	△	1
新規・ 継続	危険箇所マップ作成	行政区・自治協議会	マップ作成	フィールドワーク	○	◎	△	2
新規 ・継続	企業誘致	日本精工用地の有効 活用 他	企業誘致	校区をあげて陳情す る	◎	△	○	3

分野 No.	分野	課題となっている地区活動	新しく必要な活動	今後取り組む活動
12	その他特に必要があると認めるもの	○コミュニティセンター問題	<ul style="list-style-type: none"> ・事務室の拡張 ・駐車場の拡張 	<ul style="list-style-type: none"> ・工事要望書（設計図面・見積書） ・購入要望書の提出
		○組織機構改革 （区長委嘱）	<ul style="list-style-type: none"> ・組織機構・規約の検討 ・自治協議会における区長の位置付け 	<ul style="list-style-type: none"> ・役員会における具体的な検討と総会への提案
		○地域振興事業 地域おこし	<ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし（活性化の取り組み） ・ちかぜ等地域資源の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な内容の検討
		○空き家・転入者対策	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家の実態調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・市空き家バンクとの連携
		○通学合宿	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の通学合宿のあり方検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・大石地区の子育ての観点 ・自治協議会としての関わり方

② 分野別議論のまとめ

中期（3年～5年）、長期（5年～10年）

No.	分野	現在取り組んでいる 地区内活動	継 続	検 討	新しく必要な活動	今後取り組む活動	28 年度	中 期	長 期	担当部署
1	防犯及び防災	○（防犯カメラ）地区での設置数2ヶ所		○	○（防犯カメラ）コミュニティー活動	●自主防災組織全行政区結成		○		地域振興部会
		○コミュニティで防災訓練（年2回）	○		上で新規設置場所及び個数を検討	●防災訓練	○			
		○自主防災組織 現結成数9組織	○		○防犯意識の啓発・防災教育	●避難所の確保と訓練		○		
					○自主防災組織を全行政区に早急に 設置すべき	●防災教育	○			
					○避難経路の周知と確認	○自治協議会内での防災組織をつくる	○			
					○非常食の備蓄（食糧・水）	○意識啓発	○			
					○避難所の運営訓練					
2	生涯学習活動	○グラウンドゴルフ大会	○		○高齢者に対するサークル活動	●グラウンドゴルフ大会	○			社会教育部会
		○菜の花ウォーキング大会	○		○活動の場づくり（各種教室開催）	●地域活動の担い手づくりのための人材育 成（子供会）		○		
		○大石駅伝競争大会	○		○知恵や知識の活用の場づくり	●各種教室（サークル活動）の開催		○		
		○親子凧あげ大会	○		○リーダー育成・発掘	○地域間・世代間交流		○		
		○一年生七夕お祝い	○		○地域間・世代間交流			○		
3	環境及び景観の 保全	○期成会による要望		○	○意見を交換し合うシステムを創る	●道路愛護	○			地域振興部会
		○放水路の管理	○		○公園に日陰を造ってほしい	●意見を交換し合うシステムづくり		○		
		○草刈	○		○公園に関する要望を調査する	●効率のよい作業ができるシステムづくり		○		
					○下水道の接続を進める	○公園管理	○			
						○道路愛護での草刈り	○			
					○道路愛護での河川の清掃	○				
4	人権教育・啓発	○人権講演会	○		○人権学習（区長会・分館長会・各部 会）	●人権講演会	○			役員会
					○人権の花の栽培	●人権学習（区長会・分館長会・部会）	○			
						●人権の花栽培		○		
5	福祉及び健康増 進	○友愛訪問	○		○かんたんな食事づくり応援	●見守り・声かけ	○			健康福祉部会
		○ラジオ体操	○		○各家庭の掃除	○一人暮らしの声かけ	○			

		○あいの会のお弁当作り	○	○移動スーパー週1回を週2回に	●買い物支援を多くの方が手伝えるようにしたい		○	
		○小修理活動		○簡単な家の修理・ボランティア活動				
		○買い物支援	○	○買い物支援を多くの方が手伝えるようにしたい	●簡単な家の修理		○	
		○一人暮らし訪問	○		○ボランティア活動		○	
		○福祉まつり	○		○よりあい会		○	
		○福祉委員研修会	○					
		○シルバー料理教室	○		○移動スーパー		○	
6	高齢者等の生きがい	○老人クラブグラウンドゴルフ大会	○	○便利屋活動（基本はボランティア） （例）・テレビの故障・玄関チャイムの故障等）	●老人クラブグラウンドゴルフ大会		○	
		○老人クラブパークゴルフ大会	○		●一人暮らし高齢者に対する見守りの徹底		○	
				○有償ボランティア	○便利屋活動		○	
				○行政区の公民館の解放（サークル活動を行う）				
7	青少年の健全育成	○といもっ祭り育てと教育を進める会	○	○リーダー育成	●通学合宿		○	
		○ソフトボール大会	○	○通学合宿	●リーダー育成（子ども会）		○	
		○弓立神社万年願相撲大会		○野外体験活動	●伝統行事（相撲、駅伝、凧あげ）		○	
				○あいさつ運動	○寺子屋的な教育			○
				○子育て相談				
				○寺子屋的な教育				
				○伝統行事の継承と発展				
8	男女共同参画社会の推進	○女性部会	○	○女性部連絡員学習会	●女性部連絡員学習会		○	
		○井戸端会議	○	○男の料理教室	●男の料理教室		○	
		○視察研修	○	○地区民へ講演等での啓発活動	●講演会の実施		○	
					○女性部会の設置		○	
9	地域文化の継承及び創出	○しめ縄づくり	○	○歴史マップづくり	●しめ縄づくり		○	
				○地域資源の把握と情報発信	●地域の歴史文化の周知・広報		○	
				○歴史文化の伝承（子どもへ）	○歴史文化の伝承（子どもへ）		○	
				○地域歴史・文化の周知・広報				
10	コミュニティビジネス等地域経営	○ファイバーリサイクル事業		○地域資源を活用した地域おこし	○ファイバーリサイクル事業		○	
				○イベントの実施	○地産地消の直売所開設		○	
11	地域 ①地域振	○大石小運動会	○	○まつり（市のフォロー手配ルー	●公園の草刈り		○	

課題の解決、地域振興及び住民交流	興、コミュニティづくり	○ラジオ体操	○	ト)・一度止めると再開は難しい	●コミュニティセンター（公民館）の活用	○			役員会
		○三世代交流	○	○盆踊り大会	●お祭り・演芸会・獅子舞	○			
		○ともっ祭	○	○小学校運動会を活用した地域運動会	○花まつり		○		
		○文化祭	○		○シルバー人材センター		○		
		○通学合宿	○	○スポーツ大会	○ボランティア人材バンク		○		
		○グラウンドゴルフ大会	○	○コミュニティセンターの活用	○大石版寺子屋		○		
				○大石版寺子屋	○地域運動会		○		
				○大石グラウンドゴルフ大会を行政区でも実施し上位数チーム再参加					
				○高齢者の先生による子供への料理教室					
				○ボランティア人材バンク					
				○鬼火たき・おまつり・獅子舞					
				○地域清掃ボランティア					
				○シルバー人材センター(大石)					
		② 地域産業育成	○組合を創って放置しているところで作物を作る	○	○市に要望をする	●組合づくり		○	
			○地元からの要望を調査し希望を叶える	●雇用の創出		○			
			○高齢者の活用	●地域産業の育成		○			
			○人脈の掘り起し	○家庭菜園		○			
				○人脈の掘り起こし		○			
				○高齢者の活用		○			
③人口減少・定住促進	○子供110番	○	○防犯カメラ	●子育て支援 子育てと教育（学童保育）		○		役員会	
	○シルバー保安官	○	○空家対策事業	●危険箇所マップ作成（全域）		○			
	○危険箇所マップ作成	○	○企業誘致	●企業誘致		○			
	○延長保育	○	○大石の魅力発信						
	○子育て支援（学童保育）	○							
	○子育て情報発信	○							
12 その他特に必要があると認めるもの			○コミュニティセンター問題	○事務室、駐車場の拡張		○		役員会	
			○組織機構改革（区長委嘱）	○組織機構・規約の検討		○			
			○地域振興事業	○地域おこし（活性化の取り組み）		○			
			○空き家・転入者対策	○空き家の実態調査		○			
			○通学合宿	○通学合宿のあり方検討		○			

うきは市 『地域計画』



うきは市地区自治協議会
うきは市役所市民協働推進課

平成28年6月